

## 第1回 箱根町子ども・子育て会議 議事録要旨

### 6 議題

#### (1) 子ども・子育て新制度、箱根町子ども・子育て支援事業計画の概要について

～事務局からの資料説明～

～質疑応答～

会 長 箱根町には、認可外保育施設が何か所あるのか確認したい。

事務局 湯本に2か所ある。夜間型の認可外保育施設である。

会 長 昼間の保育等に関しては、ほとんどの児童は町立の保育園、幼稚園が担っているということか。

事務局 認可保育園と幼稚園が担っている。

#### (2) 箱根町子ども・子育て会議の役割について

#### (3) 箱根町子ども・子育て支援事業計画の策定のスケジュール（予定）

～事務局からの資料説明～

～質疑応答～

質疑なし

#### (4) 箱根町子ども・子育てに関するニーズ調査票（案）について・調査票の内容検討

～事務局からの資料説明～

～質疑応答～

##### 【就学前児童の保護者用調査について】

委 員 今回の調査は無記名か確認したい。

事務局 無記名である。

委 員 箱根町の現状からすると、お住まいの地域や生年月日、きょうだいの人数など、細かい世帯の状況を回答すると、記名しているのと同じようなことにならないか。回答者は世帯が特定されると考えて、素直な意見が出しにくいのではないか。

事務局 国のひな形に従って実施する調査となっており、全国一律、この内容で実施される予定である。

委 員 全国一律、この形で実施しなければならないのか。

事務局 同じ形で実施しないと、町として県や国に報告があげられない。

委 員 お住まいの地域や生年月日、きょうだいの人数などを聞かないと、集計ができないということか。

事務局 何歳の子がどのようなニーズがあるのか、また、地域によっても実情が違うので、地域ごとに集計を行いたい。町としては生年月日があったとしても、それ

を誰々さんと照合をかける訳ではない。委員のご指摘のように、回答する側からすると、世帯が特定されるかもしれないので答えないでおこうというような判断をする方もいることは致し方ない。地域別の集計も行わなければならないし、年齢ごとの集計も行う必要があるので、委員のご指摘を調査票に反映する方向で、町としてプライバシーの保護を重視し、個人や世帯が特定されないかたちで集計を行うので、率直に回答をしてほしい旨の説明書きを記述するかたちとしたい。

委員 6歳未満の子どもで習い事をしているケースもあるので、「お子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境」を聞いている質問に、「習い事」という選択肢を追加した方がよい。

事務局 ご指摘のとおり追加する。

委員 同じ質問で、「地域」という選択肢があるが、その意味を回答者が分かるのか。隣近所に面倒を見てもらうといったことが想定されるのか。

会長 この「地域」という言葉もそのまま使用する必要があるのか。保護者の立場で言うと、隣近所という言葉の方がイメージとしては分かりやすい。

事務局 括弧書きで隣近所と記述するかたちとする。

委員 「地域」の定義の中には、子育て支援センターなど一時的に利用するものも含めているのか。隣近所に限定してしまうと、子育て支援センターなど、そのほか利用している場が含まれないことになる。

事務局 選択肢自体は国から示されたものではあるが、「地域」という言葉はあまりに範囲が広いので、隣近所、子育て支援センターなど、想定される回答を選択肢として設けるかたちとする。選択肢として設けた方がよいものについて、提案があればお聞きしたい。

会長 この質問とは別に、「お子さんの子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる先」を聞いている質問があり、この選択肢には近所の人というものが入っており、この質問の選択肢とリンクをさせるのがよいのではないかと。

事務局 ご指摘のようなかたちで選択肢を作成する。

委員 「平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。」という質問の選択肢に、保育園の一時的保育や子育てサロンなどが入っていないが、盛り込む必要はないか。

事務局 この質問は定期的に利用している施設・サービスについて聞いているものであり、一時的保育や子育てサロンについては、この質問とは別にニーズ等をお聞きする質問が設けられている。

委員 「平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。」という質問の選択肢にある「家庭的保育」の説明では分かりにくいのではないかと。

事務局 児童6人未満の小規模な預かりサービスであり、事業として町に登録するもの

である。保育園などとは異なり、県の認可ではなく、町の承認に基づくサービスである。箱根町の場合は認可保育園に空きがあることから、利用している方はいない状況である。

委員 保育ママなど、具体的な名称を入れた方が分かりやすいのではないか。

事務局 括弧書きで保育ママを入れるかたちとする。

委員 「平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。」という質問については、複数選択となっており、次の「平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。」という質問については、記入する枠が1つのみとなっている。教育・保育の事業を複数利用している場合はどのように記入するのか。

事務局 国の質問の意図としては、例えば幼稚園と幼稚園の預かり保育の2つに○が付いた場合には、それらを合計した時間を書き入れる意図と思われる。

委員 「一時預かりの望ましい事業形態」について聞いている質問に「地域子育て支援拠点」という言葉が出てくるが、「子育て支援センター」との表現が一般的ではないか。

事務局 ご指摘のとおり修正する。

委員 「土曜日と日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望」を聞いている質問文の「(1) (2) それぞれについて」との表現は「(1) から (3) それぞれについて」が正しい表現ではないか。

事務局 ご指摘のとおり修正する。

会長 「子育てを行っていて、特に困ること、困ったこと」を聞いている質問については、特に困ること、困ることを分けて聞いた方が集計しやすいのではないか。

事務局 ご指摘のとおり修正する。

事務局 「自分は子どもを虐待していると思うことがありますか。」という質問を設けており、このようなストレートな聞き方がよいのか、「育てにくいことがありますか」というような表現の方がよいのか、委員の意見をお聞きしたい。

委員 仮に虐待について「よくある」と回答してきた場合、町はどのように対応するのか。

事務局 この質問については、現行の次世代育成支援行動計画の策定時に実施したアンケート調査の質問と同じ内容となっており、現段階では同じ内容を設定し、委員の意見をお聞きしようという意図である。

委員 虐待が疑われるような家庭は、おそらく今回のような調査には回答を寄せないのではないか。もしかしたら自身の育て方は間違っているのかもしれない、しつけないのか虐待なのか分からないと感じているような保護者を把握するような質問ではないかと思う。

会長 別の質問で困っていることを聞いている質問があり、この中で悩んでいること

を書くようなかたちにしてはどうか。虐待は、その当人は虐待を行っているという意識はないのではないか。

事務局 悩んでいる内容を選ぶようなかたちの方がよいのか。

委員 虐待と書いてしまうと、誰がそのように回答したかは調べれば分かってしまう。その後、回答された方が仮に虐待で事件などを起こした場合には、今回のアンケートで分かっていたのに、町は何で未然に防がなかったのかということにはならないか。

事務局 箱根町の場合は、虐待、ネグレクトなどに対して、かなりきめ細かく、見守りを厳しく行っている。仮に今回のアンケートでそのような行為が明るみになった場合は、プライバシーの問題よりも生命の問題の方を重視すべきだと思う。ただ、虐待という表現は、今回のアンケートにおいては、受ける印象としてきつい表現だとは思っている。

委員 「自分は子どもを虐待しているのではないかと悩んでいますか」という質問の仕方ではどうか。また、悩んでいる場合は、「そのことについて相談していますか」という質問を加えるかたちがよいのではないか。

会長 虐待という表現は使いつつ、悩んでいるかどうかを聞いて、その相談先を聞いたり、どのように解決したらよいのかという項目を追加するかたちで修正をお願いする。

委員 「子どもを虐待していると思うのは、どのようなときですか。」という質問があるが、この選択肢にあるような虐待に該当するような行為をしたことはあるかという聞き方ではどうか。

事務局 委員のご意見を反映するとすれば、現在の選択肢よりももっと厳密に虐待に該当するような行為を詳しく書いておく必要があるのではないか。

委員 虐待に該当するような行為をしたことが「ある」と不安を持った保護者が、すぐ助けを求めるようなことを書き入れる欄を設けるのは問題か。

事務局 今回のアンケートは無記名式であり、個々の家庭を特定して対応するという目的を持たせるのには疑問がある。そういう使用目的が想定されるのであれば、その目的を明らかにする必要がある。

委員 アンケートの目的は何か。虐待等を未然に防ぐためではないか。

事務局 虐待等を未然に防ぐために、町として不足しているものを補っていかねばならない。それを把握し、検討するための材料を得るのがアンケートの目的である。

委員 子どもを守ることが目的ではないのか。

事務局 そういった目的を今回のアンケートに持たせるかどうか。記名式もしくは、その目的を明記しなければならない。

委員 調査票には個人や世帯を特定せず、目的外には使用しない旨を書く訳なので、

「虐待等に悩んでいるのであれば、下記の相談先までご相談ください。」といった程度であれば書いてもよいのかなと思う。箱根町は子育て支援が充実しており、赤ちゃん全員を保健師が訪問して支援を行ったりしている。虐待等の発見や対応は、個別訪問でも対応できるので、あえて今回のアンケートに虐待を発見するという目的を持たせなくてもよいのではないか。

事務局 箱根町として子育て支援に力を入れている中で、虐待等に悩んでいるかどうかという質問を保護者に投げかけて、町が想像している以上に悩まれている方が多いのか、少ないのか把握をし、町の取り組みが成果をあげているのか、まだまだ課題が多いのかを判断する目安としては、アンケート調査は活用できると考える。

委員 悩まれている方がどこであれば相談できるか、相談に行こうと思うかに○を付けていただくような質問を設けてはどうか。

事務局 この調査票には、虐待に関する質問とは別に「お子さんの子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる先」をお聞きする質問があり、この内容に「保健師」という選択肢を追加するかたちで質問を作成したい。

委員 虐待に関する詳しい調査は、必要に応じて今回のアンケートとは別に調査を実施することを考えればよいと思う。

事務局 結論としては、「悩んでいるか」「誰かに相談しているか」という流れの質問とする。

委員 虐待に関する詳しい調査は、必要に応じて今回のアンケートとは別に調査を実施することを考えればよいと思う。

#### 【小学1年生から3年生の保護者用調査について】

委員 就学前児童の調査票と同様に、「土曜日と日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望」を聞いている質問文の「(1) (2) それぞれについて」との表現は「(1) から (3) それぞれについて」が正しい表現ではないか。

事務局 ご指摘のとおり修正する。

委員 就学前児童の調査票も同様であるが、「日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。」という質問について、付ける○の数を3つに限定している理由は何か。すべてに○というかたちでは問題があるか。

事務局 現行の次世代育成支援行動計画の策定時のアンケートと同様の形式である。町として何を最優先していくかということを検討する上では、回答を3つ程度に絞って聞くことが効果的であり、望ましいと考える。

会長 事務局においては今回の意見を踏まえて調査票を作成し、10月中の調査の実施をお願いする。

(5) その他（次回日程調整等）

事務局 次回会議、来年2月に予定しており、日程調整をお願いしたい。2月26日（水）  
ではどうか。

委員 異議なし

会長 以上で議題を終了する。

閉会